

泌尿器科紀要

第33巻 第3号 1987年3月

ヒト腎細胞癌培養株細胞に対する遺伝子組み換えヒト TNF の抗腫瘍活性 および遺伝子組み換えヒト γ -Interferon, Doxorubicin, Cis-platinum との併用効果.....郷司 和男・ほか	329
腎細胞癌に対する根治的腎摘除術の治療成績 第1報: 腎癌取り扱い規約による進展度分類と予後.....西尾 恭規・ほか	337
794 上部尿路結石症患者の結石成分と臨床的観察 —当教室における1938年以来48年間における検討—.....石原八十士・ほか	344
北里大学病院における尿路結石症の臨床統計.....小田島邦男・ほか	353
カルシウム拮抗剤 (Verapamil) の膀胱排尿筋収縮抑制作用: 臨床応用の可能性.....後藤 百万・ほか	357
膀胱癌患者の非特異的細胞性免疫反応におよぼす 仔牛胸腺液性因子の影響について.....堀井 明範	364
前立腺肥大症における排尿筋反射亢進に関する 尿水力学的研究.....村山 和夫・勝見 哲郎	375
前立腺の発生, 分化, 成長—上皮-間質の相互作用と腺内における 細胞活性の heterogeneity について—.....杉村 芳樹・川村 寿一	380
ヒト精液中の NAG 活性についての研究—その基礎的検討—.....吉田謙一郎・ほか	391
陰茎癌における SCC 抗原の臨床的検討.....高橋 義人・ほか	396
外傷性腎動脈血栓症の1例.....佐藤 信夫・ほか	400
腰椎より発生した軟骨肉腫によると思われる 腎血管性高血圧症の1例.....赤倉功一郎・ほか	405
巨大腎嚢胞に合併し黄色腫と鑑別困難であった腎癌の1例.....岡村 武彦・ほか	409
後腹膜脂肪肉腫の2例 一症例報告並びに本邦163例の統計的考察—.....中島 登・ほか	414
ランダムパイオプシーにて発見された膀胱マラコプラキアの1例.....宮崎 治郎・ほか	420
転移性膀胱悪性黒色腫の1例.....入澤 千晶・ほか	424
男子原発性尿道移行上皮癌の1例.....林 美樹・ほか	428
男子尿道乳頭腫の2例.....坂口 洋	433
多発性肺転移を伴った前立腺癌の1例.....加藤 はる・ほか	441
先天性陰茎彎曲症の1例.....水谷 陽一・ほか	447
睪丸破裂の1例.....野俣浩一郎・林 幹男	450
DIC による Priapism の1例.....高村 真一・ほか	453
テロジリンの下部尿路機能に対する作用.....西沢 理・ほか	458
排泄性腎盂造影における非イオン性低浸透圧水溶性造影剤 イオパミロン 300 の高齢者における使用経験.....宮川美栄子・ほか	465
Norfloxacin の慢性前立腺炎に対する治療効果.....熊本 悦明・ほか	471

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購 読 要 項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番
泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投 稿 規 定 (1986年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員(年間購読者)に限る。
 2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig.)10枚、表(Table)10枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書(ワープロ可)、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。年号は西暦とする。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプ(手書き不可)する。
 - (i) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。
例：山田・ほか：前立腺がん・PSAP
 - (ii) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、主任名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, $^{\circ}$ C などとする。
 - (5) 和文、英文原稿を問わず図、表、写真などは各々台紙に添付し、それらに対する説明文は別紙に一括して Fig. 1 ..., Fig. 2 ..., Table 3 ... などと記載する。説明文は英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリ
- ミグし、図・表は誤りのないことを確認のうえ、トレースして紙焼したもの(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例：山田^{1,3,7)}、田中ら^{1,3-10)}によると)
雑誌の場合—著者名(全員)：題名。雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
 - (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
 - (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部が行なう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲 載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後に行なう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などに関する研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
 4. 別刷：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。
宮崎 重 新谷 浩
吉田 修(主 幹)